

各 位 様

高知県言語聴覚士会会長 西田 香利

高知県言語聴覚士会会報「ことこと」の送付について（進呈）

拝 啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、私ども高知県言語聴覚士会に格段のご高配、ご支援を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

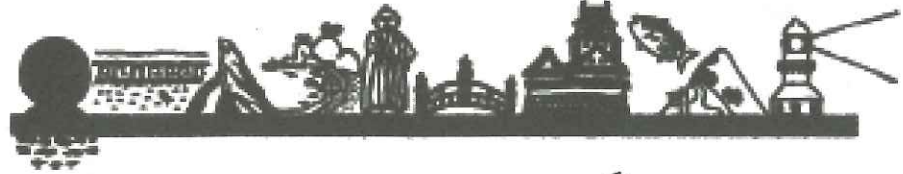
さて、当会の会報（年4回発行）「ことこと」第 13 号ができましたので、お送りさせていただきます。ご多忙中恐縮ですが、ご笑覧いただければ幸甚に存じます。

末筆ながら、貴職のますますのご健勝と貴団体のますますのご発展を心から祈念いたします。

敬 具

2024  
9  
September

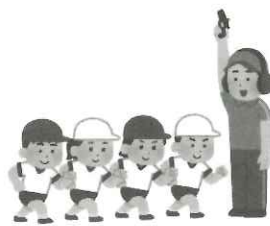
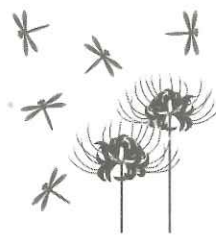
# ことこと



📖 こころとことばと 📖

第26回 The 26th Annual Meeting of the Japanese Association of Speech-Language-Hearing Therapists  
**日本言語聴覚学会 in 山形**  
 言語聴覚士には人と社会を変える力がある  
 ～なせばなる なさねばならぬ何事も 共に生きる時代へのSTep～  
 2025年  
**6/27(金)・28(土)**  
 開催形式:ハイブリッド開催(予定)

会場 やまぎん県民ホール 山形テルサ  
 学会長 荒井 晋一  
一般社団法人 山形県言語聴覚士会



*Pick up!* 第25回 日本言語聴覚学会

発表記・参加記 P1-P3

- 教育部からのお知らせ . . . . . P3
- 知ってトコトコ+会員の皆様へのご願い . . . . . P4
- 失語症者向け意思疎通支援者養成研修を終えて+急募 . . . P5
- 学会案内+理事会報告 . . . . . P6
- 編集後記 . . . . . P7

# Vol. 13

一般社団法人  
高知県言語聴覚士会会報

## 第 25 回 日本言語聴覚学会 発表記

『高校入試に向けた合理的配慮の検討—限局性学習障害児—症例の取り組み—』

上松 智幸

### ①ネタの決め方

中学 1 年生の LD 児の支援会に参加させていただいたのがきっかけになります。高校入試における合理的配慮についての話し合いで、試験時間延長や代読などの配慮についてはとても前向きな返答があったのですが、パソコンやタブレットなどの ICT 機器の導入については、同様の返答がありませんでした。教育側は何か難しさを感じているようだったので、ICT 導入に関して全国的な動きを調べたところ、他の配慮に比べて前例が少ないことがわかりました。対象児には必要な配慮であり、全国的にはまだ報告は少なかつたため、意見交換ができればと思い、発表をすることとしました。

### ②準備期間

2023 年 4 月ごろから計画立案、データ収集、データ解析等々を進めていきましたので、1 年と少しといった期間になります。

### ③大変だったこと

高校入試は県の管轄ですが、高知県の前例などの情報が入手できず、ICT 導入の可否についても 3 年生になってから検討をするとのことで、何をどうすれば良いのかわからない状態のまま進んで行くしかなかった点です。

### ④感想

とにかく今できることをやると決め、学校と担当 ST とで取り組んだことによって、ICT 導入の必要性を説明する根拠がデータとして示すことができました。また、学校でも多くの配慮を導入して実績を積んでいただいています。月並みな感想ですが、やってみることも、協力することの重要性を改めて肌で感じることができ、とても良い経験となりました。  
(うえまつ ともゆき・高知リハビリテーション専門職大学)

『高知県内における発達障害の早期発見・早期支援のための取り組み』

池 聡

### ①ネタの決め方

今回、県士会で行っている高知県発達障害早期支援エキスパート（エキスパ）養成研修の開始から今までの経緯や現状についての報告を行いました。そのため、県士会の仕事に関わらせていただいている者として、実施したことを報告させていただくような気持ちで、ネタを決めました。

### ②準備期間

ポスターの作成期間は約 1 か月程度です。養成研修は令和 2 年度から行っておりますので、内容は 4 年間に実施したことをまとめました。

### ③大変だったこと

高知県独自の取り組みについての内容だったため、どのようにポスターを作成すれば、自分たちの活動を知ってもらえるかを考えることが大変だったように思います。高知県の現状は、他県の方だと地理的なこともイメージしづらいと思います。エキスパに関することや流れを、研修参加者や担当者以外にもわかりやすく伝えるように、図表や文章、使用する単語に気をつけながら作成しました。

### ④感想

今までも思っていたことではありますが、今回の資料を作成していく中で、共同演者の先生方以外にも講師の先生方、高知県障害福祉課の担当者の方々、アンケートにご協力いただいた保健所の方々、研修に参加いただいた皆様などの協力があったの事業および発表だったと思いました。今年度以降、どのように進めていくと良いか考えることのできる良い機会となりました。学会当日は、ポスター番号が最後だったため、部屋の隅でポスターを掲示するかと思いきや、会場入り口の真ん前でした。多くの方々にポスターを見ていただくことができ、沢山のご質問もいただきましたので参加してよかったと思えました。ハイブリッドなどオンラインでの学会、勉強会が多くなりましたが、やはり相手の顔が見えるだけでなく、雰囲気なども共有できる対面での開催も、非常に有意義であると改めて、感じることができました。  
(いけ さとし・高知リハビリテーション専門職大学)

## 第25回 日本言語聴覚学会 発表記

『高知県における言語聴覚士の認知度向上に向けた士会の活動』

山本 光穂

### ①ネタの決め方

令和5年度高知県言語聴覚士会では言語聴覚士のPR動画の制作を企画し、日本言語聴覚士協会へ『言語聴覚の日のイベント共催補助金』を申請し、PR動画が完成しました。

会長からの助言もいただき、この取り組みについて日本言語聴覚学会で発表する事で、当会の活動について広く知ってもらい、助言をいただく事で今後の啓発活動に活かしていきたいと思い、発表しました。

### ②準備期間

PR動画の企画から完成までに2年程度かかりました。抄録作成に1ヶ月程度、ポスター作成に2ヶ月程度かけて取り組みました。

### ③大変だったこと

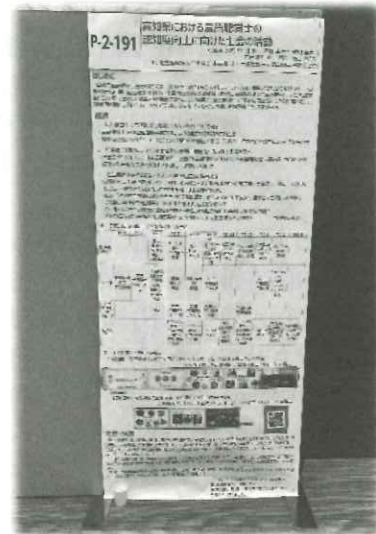
通常の症例発表とは異なり、取り組みについての報告でしたので、どのような内容を盛り込めばよいのか悩みました。共同演者の先生方へ相談して、内容を少しずつ完成させていきました。あとポスターの書式の調整は、経験のある先生の助言をいただかなければ1人では完成させられなかったと思います。

### ④感想

初めての日本言語聴覚学会での発表でとても緊張しました。ポスター発表だったのですが責任者在籍制のイメージが分からず戸惑いましたが、高知県の言語聴覚士の先生方からお声がけいただき安心して1時間の発表時間を過ごせました。QRの読み込みをしてくださった先生もおられ、今後の展開についてアドバイスをいただける機会になりました。PR動画視聴も学会日程前後で少し増えており、知っていただける機会になれたのではないかと思います。

会長はじめ理事の先生方にお誘いいただき県外の先生とご一緒させていただいた神戸の美味しいお食事やお酒も、日常では味わえないとても充実した経験になりました。

(やまもと みつほ・(一社)高知県言語聴覚士会 渉外部)



### 『「ブリッジ嚥下訓練」で食道内残留が減少した1症例—退院後も継続して行える工夫をして—』 八井田 明子

今回、第25回日本言語聴覚学会で7年ぶりに発表をしました。抄録を作成し、スライドの作成を開始する段階でもまだ、自分が発表で何を伝えたいか、何を考察したいか、明確ではありませんでした。

どんな結論に行きつくのか、はっきりとしない時期もありましたが、周囲のアドバイスをいただき、少しずつ自分の伝えたいこと、発表の中心としたいことが明確となるとやりがいを感じるようになりました。発表をするための文献検索や臨床を振り返ることで、学びになるとともに、もっと丁寧な臨床ができたのではないかと反省をする部分もありました。

今回の発表では「機能」と「退院後も効果を維持するための工夫」を中心としました。機能回復や入院中の効果だけでなく、能力の維持やQOLの維持・向上も含めて、患者さんの退院後の生活を想像し、目標を設定することの大切さを改めて感じました。発表は緊張しましたが、質問をいただき、新しい視点、今後の課題もみえてきました。今まで発表というと、特別な症例や訓練がスムーズに進んだ症例を選択していました。上手く発表しなければならぬ、と緊張や不安がとても強かったのですが、「上手く発表する」のではなく、発表までの文献検索、行った訓練の振り返り、ディスカッションなどの「過程」が大切であると感じました。私も含め、学会発表はハードルが高いと感じているSTは多いと思います。結果よりも過程を大切に取り組むことでハードルは少し下がりました。県士会や全国学会での発表を迷っている方は是非チャレンジしていただきたいと思います。

(やいだ あきこ・近森リハビリテーション病院)

## 第25回 日本言語聴覚学会 参加記

協会企画2『災害基礎研修受講者および災害支援に関心がある言語聴覚士の集い』に参加して 森下 裕介

この度、6月21日、22日に第25回日本言語聴覚学会 in 兵庫・神戸へ参加させていただきました。梅雨時期でしたので行きは大雨、昼間は快晴と不安定な天候でしたが、会場には多くの協会員で賑わっていました。

このたび、日本災害リハビリテーション支援協会（JRAT）より2月末に能登半島地震における現地のロジスティックス（対策本部活動）要員として1.5次避難所へ派遣され、3日間の支援活動に携わり、行政・医療・保健・福祉等、多くの職種が連携して、それぞれの専門性を活かし活動する姿を見てきました。今回の『災害基礎研修受講者および災害支援に関心がある言語聴覚士の集い』の会場は満員で廊下から拝聴される方も多く、皆様の興味関心の高さが伺えました。能登半島地震発災初期から数か月における石川県でのロジスティックス活動や嚙下評価（ミールラウンド）活動報告と反省点、今後の課題などが話し合わせ、私自身の現地で経験振り返りながら拝聴させていただき、次に繋げていける有意義な内容となりました。また「災害支援に行きたくとも施設側の了承が得られにくい」という声に対し、「平時から“災害”というものに携わり（研修会への参加等）、施設側へアピールしていくことが大事」との話があり、「まさにその通りだ」と痛感しました。いきなり施設側へ「災害支援に行ってもいいですか」で許可を得るのは難しいでしょう。

今後は来る災害に対し、「備え」や「対策」は“物”だけではなく、対応できる“人”の確保も重要です。ぜひ会員の皆様にも災害支援に関心を持っていただきたいと強く願います。

（もりした ゆうすけ・（一社）高知県言語聴覚士会 災害対策部）

### 教育部からのお知らせ

#### ●基礎講座改定につきまして

今年度より生涯学習プログラムにおける基礎講座の内容が改定されております。

	旧	新
①	臨床のマネージメントと職業倫理	言語聴覚士の倫理
②	臨床業務のあり方、進め方	臨床実践（基礎）
③	職種間連携	チーム医療のありかた
④	言語聴覚療法の動向	言語聴覚士のキャリア形成
⑤	協会の役割と機構	職能団体の役割と言語聴覚士の責務
⑥	研究法序論	エビデンスに基づく臨床（EBP）と研究法基礎

※旧講座を受けている場合は改定後の講座は受講不要ですのでご注意ください。

（例：旧講座①を受講済みであれば、新講座①『言語聴覚士の倫理』の受講は不要）

#### ●小児領域の勉強会につきまして

今年度は、小児領域の臨床を日々実践している方や小児領域に興味がある方に向けて、勉強会を計画しています。勉強会にメール登録いただきますと、開催の都度にご案内を送信いたします。ご興味のある方は登録をお願いいたします。初回の内容は、現在のところ構音を中心とした症例検討会を予定しており、アドバイザーとして大崎聡先生をお招きいたします。

登録用QR





## 「よりよい睡眠を求めて」

土居 舞果

専門学校卒業後、就職して1年目にオーダーメイド枕を購入しました。2020年のコロナ禍に入職し、外食や旅行の制限もあったため、当時、インテリアにこだわるようになっていました。初めての一人暮らしだということも拍車をかけ、オーダーメイド枕の存在が気になり購入に至りました。枕だと思えば、お値段は安くはないのですが、自分の体に合った高さ、固さの調節をしてくれるので気に入っています。またメンテナンスが無料という話も魅力的でした。メンテナンスの際には潰れた綿の取り替え、除菌もしてくれ、体の形が変わっていたら再度高さの調節もしてくれるのです。

オーダーメイドにしてから、枕が頭の形にフィットするので入眠までの時間も短いように感じています。また横向きに寝た際の肩の窮屈さもほぼありません。頭の形に合わせるのでストレートネックの予防にもよいらしいです。

厚生労働省でも「健康づくりのための睡眠ガイド」が作成されており、睡眠の量や質が問われています。心身の健康を保持するためにも睡眠の質を保っていくことは重要です。

もちろん睡眠には、枕だけでなく食べ物や運動にも気を配る必要があると思いますが、これからもよりよい睡眠がとれて日々の業務を行えるよう、自分の体に合った枕を大切に利用していきたいと思っています。

(どい まいか・須崎くろしお病院)

## 会員の皆様へのお願い

皆様は、日本言語聴覚士協会への入会をされていると思いますが、現在、協会ホームページにある登録情報確認(図1)の中の「所属先(病院名等)」や「所属士会(主)」(図2)の入力が未入力の方が多数おられるようです。(一社)高知県言語聴覚士会としましては、県士会員と全国協会員の一致化については早くより取り組んでまいりました。お忙しい中と存じますが、確認をしていただきたいです。何卒よろしくお願いいたします。



図1 登録情報確認



図2 所属士会(主)

## 失語症者向け意思疎通支援者養成研修を終えて

熊澤 隆成

私は2024年7月28日、8月4日と2日間に渡り、「失語症者向け意思疎通支援者養成研修」を受講しました。本来、何日にも渡り受講することで失語症者向け意思疎通支援者としても資格を得ることができるのですが、言語聴覚士免許を取得している方は、最初の2日間を受講することで上記の資格を取得可能となっています。

初日は、派遣事業・意思疎通支援者の業務、失語症概論・失語症の方とのコミュニケーション技法などを学びました。障害者総合支援法の内容や現在までの成り立ち、本事業のモデル形態やイメージなど、私がこれまで触れたことのない領域に触れることができました。また、失語症の基礎からどのような方法でコミュニケーションのキャッチボールを確立するのかを実技も踏まえて、改めて学ぶことができました。

2日目は、適切な身体介助、意思疎通支援者とは何か、また意思疎通支援者としての心構えや倫理、失語症の方の私生活をイメージした支援方法などを学びました。身体介助の講義では、日常生活だけではなく、普段の勤務中でも活かすことのできる内容を受講できました。また本事業の利用者が望む支援者としての人物像を今回の研修を通じて知ることができました。普段の臨床場面でも、望まれる人物に近づきたいと思いました。

今回、この2日間の講義を受講したことで、改めて再確認できたこと・新しく得ることのできたことがたくさんありましたが、私はまだ言語聴覚士として1年目であり、経験や知識がまだまだ不十分です。これから、様々なことを吸収し、失語症者向け意思疎通支援者として役割を果たすことのできるように精進していきたいと考えております。

(くまざわ りゅうせい・須崎くろしお病院)



会員の皆様、ご協力をお願いします！！

渉外部 若林 豪

ふくしフェア 2024 に高知県言語聴覚士会として体験ブースの設置を予定しています。とろみ牛乳試飲・嚥下障害疑似体験や聴こえ検査を予定しています。昨年実施したふくしフェアはイオンモールでの開催で来場者も多く、体験ブースはスタンプラリーの対象となっている為400名近くがブースには来られたそうです。渉外部や理事の方にも協力を依頼していますが、できるだけスタッフが多く必要です。是非スタッフとして協力していただけませんか？

STの事をたくさんの人に知ってもらえるよう、私たちと一緒に高知県の皆様に働きかけましょう！！

●日時：令和6年10月19日(土) 10:00～16:00 場所：イオンモール高知 2階イオンホール  
言語聴覚士の仕事を知ってもらえる良い機会にしたいと思いますので1時間でも構いません。  
ご協力いただける方は [izumino.kaihukuki@gmail.com](mailto:izumino.kaihukuki@gmail.com) まで、氏名・連絡先(メールアドレス)所属(あれば)をご連絡ください。

(わかばやし つよし・いずみの病院)

四国医療サービス株式会社



Yoshinaga Group

〒780-8017

高知県高知市南竹島町35番地

TEL(088)833-3552 FAX(088)831-2040

KP UR

高知リハ大で  
誰かを支える人になる。

学校法人 高知学園

高知リハビリテーション  
専門職大学

理学療法学専攻  
4年制/定員70名

作業療法学専攻  
4年制/定員40名

言語聴覚学専攻  
4年制/定員40名

入学定員  
150名

## 学会案内

東京	第 69 回日本音声言語医学会総会・学術講演会 【テーマ】音声言語医療の知と技 未来へ向けて 【会期】2024 年 10 月 17 日（木）～18 日（金） 【会場】学術総合センター（一橋講堂）
兵庫	一般社団法人日本 LD 学会 第 33 回大会（四国共同実行委員会 開催） 【テーマ】Face to Face の関係構築・地域づくり 【会期】2024 年 10 月 19 日（土）～20 日（日） 【会場】神戸国際会議場/神戸国際展示場 1 号館+オンデマンド
岡山	第 8 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 【テーマ】リハビリテーション医学の広がり 【会期】2024 年 11 月 1 日（金）～3 日（日） 【会場】岡山コンベンションセンター（ママカリフォーラム）
東京	第 48 回日本高次脳機能学会学術総会 【テーマ】認知症理解のための高次脳機能障害学 【会期】2024 年 11 月 8 日（金）～9 日（土） 【会場】東京たま未来メッセ（東京都立多摩産業交流センター）

### ★理事会報告★

#### 2024 年 6 月定例理事会 《オンライン会議》

日時 2024 年 6 月 5 日（水）19:00～20:00  
出席 西田 石川 川上 若林 池 石村 高野  
野田 森下 山本(光) 矢野 山本(理)  
吉村 横島 (書記)  
欠席 小野 小松 式地 谷本

##### 【検討・報告事項】

1. 会報編集部部会ミーティングについて報告、承認された。
2. 失語症者向け意思疎通支援事業について、支援者養成基礎研修の広報活動および高知市における派遣利用件数が報告された。また、指導者養成研修への参加者 2 名が決定した。
3. 基礎講座、専門講座、症例検討会の準備状況が報告された。
4. 連携体制構築推進会議について報告された。
5. 四国言語聴覚学会の準備状況について報告された。
6. リハビリテーション職能三団体協議会について報告された。
7. 実習指導者講習会開催について報告された。
8. 入会希望者 1 名について承認された。

#### 2024 年 7 月定例理事会 《オンライン会議》

日時 2024 年 7 月 3 日（水）19:00～20:45  
出席 西田 川上 池 小松 高野 谷本 野田  
森下 矢野 山本(理) 吉村 若林  
横島 (書記)  
欠席 石川 小野 山本(光)

##### 【検討・報告事項】

1. 基礎講座、専門講座、症例検討会、英語研修会の準備状況が報告された。
2. 失語症者向け意思疎通支援者養成基礎研修の広報について報告された。また、支援者指導者養成研修参加者およびスキルアップ研修について検討された。
3. 会報編集部部会ミーティングの報告、承認された。
4. ふくしフェア 2024 への参加について検討された。また、PR 動画の活用方法について検討された。
5. 災害支援活動報告会への参加が報告された。また、JIMTEF 災害医療研修ベーシックコースおよびアドバンスコースへの参加希望者を推薦することが決定した。
6. 年会費未納者への対応について検討された。
7. 四国言語聴覚学会の準備状況について報告された。
8. 言語聴覚の日事業として、高校生へのアンケート調査の実施の検討を進めることが報告された。
9. 連携体制構築推進会議について報告された。



## 会員の動向 ●8月20日現在 会員295名 勤務先86施設

入会と退会は必ず事務局に速やかに届け出てください(※HPからの入力可能となりました)。職場の異動や住所変更、改姓(結婚等)などがあり、会員に伝えたい場合は申し出により掲載します。本誌への掲載をご希望の方は、会報編集部(下記連絡先)までご連絡ください。

## 年会費 ●年会費5,000円

下記口座へ振り込みをお願いします。※口座番号が一般社団法人化に伴い、変更になっております。必ず確認をよろしくをお願いします。直接支払いを希望される方は、県士会行事に参加の際に支払いをお願いします。

年会費の領収書が必要な方は、財務担当 山本(くぼかわ病院)までご連絡ください。

(くぼかわ病院 TEL:0880-22-1111 FAX:0880-22-1166)

○ゆうちょ銀行 記号:16440 番号:13472011 名義:社)高知県言語聴覚士会

○その他の金融機関

店名:六四八(入力時の読み方は「ロクヨンハチ」)

店番:648 預金種目:普通預金 口座:1347201 名義:社)高知県言語聴覚士会

## 編集後記

高知の夏といえばよさこい祭り。昨年は4年ぶりに通常開催となりましたが、医療従事者チームの参加は叶いませんでした。しかし、今年は5年ぶりに医療従事者チームが参加していました。私自身参加はしていませんが、勤めている職場のチームは参加をしました。コロナ禍に最前線で感染対策を行ってきたスタッフが、次はよさこい祭りを成功させるために一生懸命になっている姿やよさこいの話を嬉しそうにする患者様を見ると、やっと高知の夏が帰ってきたと感ずることができました。

## 編集担当

表紙:高野 日本言語聴覚学会発表記・参加記:高野、野田、内田 教育部からお知らせ:高野、野田  
知ってトコトコ:舂本 会員の皆様へのお願い:高野 失語症意思疎通支援者養成研修参加記:高野、野田  
学会案内:舂本 理事会報告:内田・谷脇 編集後記:谷脇

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしています。

〒785-8501 須崎市緑町4番30号 須崎くろしお病院内 (一社)高知県言語聴覚士会 会報編集部

TEL:0889-43-2121 FAX:0889-42-1582 Email:st.kaihoushensyuubu@gmail.com

一般社団法人 高知県言語聴覚士会 会報 13号 2024年9月15日 発行

発行人 西田 香利

編集 会報編集部

発行所 〒780-8522 高知市廿代町2-22

近森リハビリテーション病院内 (一社)高知県言語聴覚士会事務局

TEL:088-822-5231 FAX:088-822-2075 Email: kochistjimukyoku@gmail.com